

第2回教職員による学校評価（自己評価） まとめ

1 実施日

- 令和6年12月11日～20日

2 回答数

- 小学部 66 中学 36 高等部 31 事務部 11 計 144
(回答率 100%)

3 見方

- 評価の判断基準として、4段階のうち「4」を高評価、「1」もしくは「2」を低評価とする。

4 評価結果

- (1) 高評価「4」の割合が30パーセント以上かつ低評価（「2」または「1」）の割合が5%未満の項目

分類	評価項目	「1」・「2」の割合
人権・安心・安全	⑨「児童生徒の実態に応じた健康・体力づくりの計画的、継続的な取組が推進されているか」	小学部：0% 中学部：3% 全体：4%
連携	⑪「児童生徒や保護者の思いを受け止めるミーティングや支援会議等の実施及び日常的な情報交換が充実しているか」	小学部：0% 中学部：3% 高等部：3% 全体：2%
協働性・業務改善	⑭「巡回相談や教育相談等の充実によるセンター的機能を強化できているか」	小学部：2% 中学部：3% 高等部：0% 全体：2%

- (2) 低評価（「1」もしくは「2」）の割合が10%以上の項目

分類	評価項目	「1」・「2」の割合
個別最適な学び	④ICTの意図的・効果的な活用による授業づくりの推進がなされているか。	小学部：12% 中学部：14% 全体：10%
連携	⑬共生社会の形成に向けた交流及び共同学習の工夫・改善がなされているか。	中学部：11%
	⑩教育活動の内容を自動性の活動・活躍などのホームページ等による積極的・継続的な情報発信がなされているか。	高等部：13%
協働性・業務改善	⑰一係一改善やファイル・電子データの整理、クリーンデスクによる業務の簡素化・効率化に基づく教材研究の時間確保がなされているか。	小学部：11% 中学部：11% 高等部：17% 全体：12%